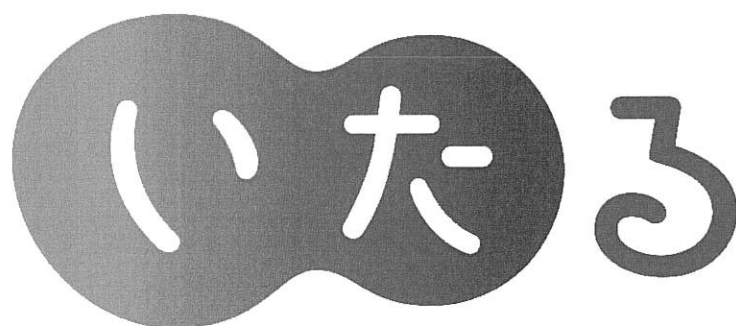


第58期 2024年度(令和6年度)

事業報告書



ITARU CENTER

自立と共生を求めて
個性が響き合う
しなやかな社会を目指します

社会福祉法人いたるセンター

社会福祉法人 いたるセンターの理念

自立と共生を求めて 個性が響きあう
しなやかな社会を目指します

全ての人が 社会との関わりの中で 自分らしさと向かいあい
一度きりの人生を 自分らしく生きることができるように
出逢いを 時間を 今を大切に 思いやりとやさしさを 未来へつなごう
自分のために 社会のために

基本方針

1. 私たちは、ご利用者様とご家族が生涯安心して生活できるように、社会ニーズを踏まえ、個を尊重したサービスを提供していきます。
2. 私たちは、ご利用者様の喜びに満ちた生活実現のため、常にサービスの質の向上に努めていきます。
3. 私たちは、利用者本位の視点を常に念頭に置き、安心・安全の確保に努めるとともに、ご利用者様の社会参加と自己実現を積極的に応援していきます。
4. 私たちは、ご利用者様のよき理解者となるために、感性を磨き、研鑽に励み、見識見聞を広め、人間力の向上を目指していきます。
5. 私たちは、地域との交流・連携を深め、福祉力向上のために貢献していきます。

《虐待ゼロ宣言》

私たちは、以下の虐待をしません。

1. 身体的虐待
2. 性的虐待
3. 心理的虐待
4. 放棄・放置
5. 経済的虐待

平成28年2月13日
社会福祉法人 いたるセンター

私たちは、“虐待ゼロ”社会の実現に向けて、以下のことに取り組みます。

「虐待をしない」

ご利用者の障がい特性を理解し、適切な支援を行うよう自己研鑽に努めます。障がい故にうまくできないことを「わがまま」、「やる気がない」で片付けないよう障がい理解に努めます。

「虐待をさせない」

職員がストレスをため込まない職場環境づくりを目指します。

「虐待を見逃さない」

職員同士が切磋琢磨し合える、風通しの良い職場づくりを目指します。
長所は認め合い、短所はアドバイスを素直に聞き入れ改善する
職員関係を築き、不適切な支援は即座に改めます。

平成28年2月13日
社会福祉法人 いたるセンター
虐待防止委員会

社会福祉法人いたるセンター

いたるセンター

令和6年度

事業報告書

理事長 谷山 勝崇

2025/05/27

I. 令和 6 年度（2024 年度） いたるセンター 事業報告

【理事長 谷山 勝崇】

1. 令和 6 年度（2024 年度）の目標

「福祉の基本は人」という原点から、引き続き「人を大切にする経営」の推進を基本ベースといたします。令和 5 年度は、一部の事業において持続的な運営に支障を来す諸問題が発生し、その改善のために注力してまいりました。個々改善の兆しは見られるものの、継続して問題点を解消していく余地が数多く残されております。そこで令和 6 年度は、今ある経営資源の見直し、事業の整備・改善に取り組み、これら事業基盤の再強化を通じて、将来の未来像を明確化できる環境設定の年度といたします。

就任時に掲げた目標即ち、職員各位が仕事をする上で「やりがい」「仲間」「対価」という 3 つの軸の内、2 つ以上を享受できる法人を目指し、事業基盤を強固なものにしていきたいと考えています。

2. 事業方針

（1）人材の定着・採用・育成の取り組み強化（継続案件）

①福祉マインドの醸成と、支援技術の向上のための啓蒙活動、各種研修の実施を通じて、職員の行動基準を具体的且つ、明確化して利用者支援の質的向上を図ります。

→障害者支援研修 e-ラーニング「サポーターズ・カレッジ」の活用促進に尽力し、年間 4,700 回の受講実績を上げました。各職員の目標受講数を定め、計画的な受講を推奨することで、人材育成を図る環境整備に努めました。集合研修では、基礎的な介護技術研修を企画し、重度化・高齢化に即応できるスキルの再認識・再確認を行いました。また、法人内講師（すまいる高井戸）による各事業所への出張研修においては、主に障害者虐待防止・権利擁護研修を実施し、虐待防止についての法改正や強度行動障害について学ぶ機会を作りました。さらに、各事業部においても、施設長が中心となり、強度行動障害支援者養成研修をはじめ、現場ニーズに即した実践的な研修を積極的に受講させ、支援の質の向上を図りました。

②労働環境（労働日数、労働時間、賃金、就業規則、他）等、職員を取り巻く諸制度・仕組の見直しを通じて、引き続き適切な制度設計を進めます。

→令和 6 年度 4 月 1 日より、年間休日の拡大（115 日から 120 日）を図り、福

利厚生の実質上の賃金アップを進めました。新人事考課制度については、これまでの個別人事評価を 5 段階から 10 段階に、賞与の月数の増減ピッチを 0.05 か月から 0.1 か月とし、令和 6 年度夏季・冬季賞与に反映しました。特に冬季賞与においては、法人初となる標準支給月数 1.85 か月を実現しています。さらには、令和 6 年度東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業補助金の申請を着実に実行し、現場の支援職に月額 1 万円（勤続 5 年目までの職員にはさらに 1 万円を加算）の居住手当を上乗せするなど、職員のモチベーションを上げ、「やりがい」を提示し「対価」で報いる方針を具現化しました。

③組織力の強化（団結する事で発揮される力の拡大）

- ・良好な人間関係の構築と助け合い精神の浸透
- ・コミュニケーションが充実し、信頼関係が構築されている風通しの良い法人
- ・法人の目標を職員全員が理解・共有している組織作りを進めます。

→4 つの障害者通所施設においてスタートした施設間研修が定着し、人材交流や支援スキルの情報交換が進んできました。コロナ禍が落ち着き、施設行事も増えつつあるなか、他事業所の職員の応援も増え、お互いに助け合おうとする「仲間」としての関係が徐々に構築されてきています。具体的には、ハッピースマイルフェスタおよび JR 目黒駅での自主生産品の合同販売会や、インクルージョンフェスティバル 2024 立川でのアート作品出展など、事業所の枠を超えた活動への参加が増えています。

半面で、メンタルを含む体調不調による休職者や退職者が一定数出ており、こうした課題にも対応していかなければなりません。下半期に実施した「自己申告制度」では、ウェブアンケート形式に変更することで、申告・提出を簡素化し、個々の職員の状態や意向を細かく把握し、個別に対応していきました。

④年齢や性別にかかわらず、個々の実績や取り組みを評価する新たなキャリアプランの構築に再挑戦・再始動します。

→女性の登用では、施設長 2 名、園長 2 名、統括リーダー 3 名、グループリーダー 17 名と、男女差なく優秀な職員の積極登用に努めました。また、年齢にもこだわらず実績等を評価した登用も進んでいます。新たなキャリアプラン・キャリアパス構築には、こうした登用データも活かしながら取り組んでまいります。

（2）事業基盤強化への取り組み（本年度重点案件）

①法人の現経営資源の洗い直しを通じて、諸課題の解決を経営・事業部門一体化

してこれにあたりと共に、必要に応じて事業の再構築に取り組み、事業基盤強化策を推進してまいります。

→今年度の事業基盤強化策として、包括ケアセンター・グループホーム事業部に、理事兼務のゼネラルマネジャーを配すことで、組織および事業の活性化を図りました。今年度初頭から定員 120 名を満床として赤字から脱却するとともに、体制強化支援事業加算や重度障害者支援加算等の助成を受けられる体制を積極的に整え、福祉活動収益の増大化を成し遂げています。

②上記を通じて、あるべき事業基盤の見極めが客観的且つ合理的に可能となった段階において、当法人にとって最適な事業方向を可視的に明確化し、事業ドメインの再検証を行い、あらためて設定することといたします。

→当法人にとって最適な事業方向を明確化する、といった取り組み例では、イタル成城・バンブルについて、日中サービス支援型で手厚い人員配置が必要なこと、利用者の重度化・高齢化により夜間支援従事者の加配が不可欠なことから、2 ユニットから 1 ユニットへの変更を協議。東京都および世田谷区の承認を受け、9 月 1 日より 1 ユニットとなりました。これにより、指定基準上の人員配置にも余裕が生じ、効率的な運営が可能となりました。

また、事業所内保育事業 A 型である「ピヨピヨおうちえん」についても、現在、従業員 3 名分を地域枠として開放しており、実質的に小規模保育事業と変わらないことから、小規模保育事業への転換を杉並区と協議。これが認可され、令和 7 年度から事業転換を行うことになりました。その名称から誤解を受けやすかった点を改善し、より選ばれやすい保育園として、少子化に対応していきます。このような各事業所へのテコ入れを通じて得た知見と経験を積み上げていくことで、法人全体の最適な事業方向を可視化し、今後の事業ドメインの再検証および中長期事業計画の策定に活かします。

（３）共同生活援助（グループホーム）事業の活性化と老朽化対策（継続案件）
適切な施設構成・人員配置の見直し検討と、老朽化したグループホームの移転・建替え計画を具体化し、利用者の安全安心な地域生活の充実と、経営の効率性や採算性の向上に取り組みます。

→包括ケアセンター・グループホーム事業部の活性化、イタル成城・バンブルの 1 ユニット化などを通じ、経営の効率性や採算性を向上しました。老朽化の進むグループホームの移転や建て替えについては、利用者の生活の質を保つこ

とを第一に、将来的なビジョンを明確にした上で、中長期的展望において再構築をしてまいります。なお、これらの移転・建て替えに備え、2年前より「施設整備積立」を実施しており、現在50百万円を計上しております。

以上

社会福祉法人いたるセンター事業内容

1. 第2種社会福祉事業

1) 障害福祉サービス事業

① 阿佐谷福祉工房（多機能型事業所 定員 60 名）

施設長 大澤 宏

生活介護 40 名、就労継続支援 B 型 20 名

杉並区天沼 1-15-18 Tel : 3392-7347 Fax : 3391-0292

② あけぼの作業所（多機能型事業所 定員 70 名）

施設長 山田弘子

生活介護 35 名、就労継続支援 B 型 45 名

杉並区上井草 4-3-11 Tel : 3395-1441 Fax : 3395-4251

③ イタール成城

施設長 安倍真紀

生活介護 45 名、短期入所みつばち 5 名、共同生活援助バンブル 10 名

世田谷区成城 8-27-11 通所 Tel : 6277-9911、

みつばち Tel : 6277-9011、バンブル Tel : 6277-9311

④ 包括ケアセンター・グループホーム事業部

ゼネラルマネジャー 五木田義之

④-1 杉並地域ケアセンターGH 事業部

杉並区上荻 1-14-8 Tel:3220-4510 Fax:3220-4511

・ワルツ事業所／定員合計 22 名

いたるホーム 定員 5 名 杉並区天沼 1-3-6 5397-9555

らら 定員 4 名 杉並区浜田山 1-30-16 3304-1820

ワルツⅠ（イタール上荻）定員 8 名 杉並区上荻 2-7-9 6454-7505

ワルツⅡ（イタール上荻）定員 5 名 杉並区上荻 2-7-9 6454-7505

・ジャズ事業所／定員合計 41 名

バラード 定員 5 名 杉並区本天沼 3-12-7 3395-7961

ジャズⅠ 定員 5 名 杉並区今川 1-10-9 6913-9800

ジャズⅡ 定員 5 名 杉並区今川 1-10-9 6913-9800

ブルース 定員 4 名 杉並区本天沼 3-12-7 5382-0566

虹の音色Ⅰ 定員 5 名 練馬区上石神井 3-26-1 6904-9951

虹の音色Ⅱ 定員 5 名 練馬区上石神井 3-26-1 6904-9951

シンフォニーⅠ 定員 6 名 杉並区天沼 2-16-9-101・102

6915-1618

シンフォニーⅡ定員 4 名 杉並区天沼 2-16-9-202・204

6915-1522

シンフォニーⅢ定員 2 名 杉並区天沼 2-16-9-305

・ボレロ事業所／定員合計 15 名

ポルカⅠ 定員 5 名 杉並区今川 1-10-8 6913-7081

ポルカⅡ 定員 5 名 杉並区今川 1-10-8 6913-7081

タンゴ 定員 5 名 杉並区宮前 3-4-13 3332-5222

④-2 世田谷地域ケアセンターGH 事業部

・ビートル事業所定員合計 25 名

カノンⅠ 定員 5 名 世田谷区北烏山 4-38-4 6909-1262

カノンⅡ 定員 5 名 世田谷区北烏山 4-38-4 6909-1262

ビートル喜多見 定員 10 名 世田谷区喜多見 5-4-21 6805-8690

アント 定員 5 名 世田谷区成城 9-24-14 6279-5282

・アネモネ事業所定員 17 名

アネモネⅠ 定員 5 名 世田谷区宇奈根 2-15-15 6411-1066

アネモネⅡ 定員 5 名 世田谷区宇奈根 2-15-15 6411-1066

プリムラ 定員 7 名 世田谷区世田谷 1-12-6 6413-5680

④-3 GH 事業部本部

・本部 杉並区上荻 1-14-8 メゾピアノノ荻窪 1 階

3220-4510

⑤ サポートウイズ

マネジャー 林 平

居宅介護・重度訪問介護・地域生活支援（移動支援）（障害福祉事業）

管理者 山崎智子

杉並区阿佐谷北 2-32-1 Tel : 6383-0881 Fax : 3337-0050

訪問介護・介護予防訪問介護（介護保険事業） 管理者 山崎智子

杉並区阿佐谷北 2-32-1 Tel : 6383-0881 Fax : 3337-0050

訪問看護ステーション 管理者 林 平

杉並区阿佐谷北 2-32-1 Tel : 6279-9350 Fax : 3337-2770

⑥ 短期入所事業

施設長代理 加藤大貴

クローバー 定員最大 8 名

杉並区天沼 1-15-18 Tel : 3398-2241 Fax : 3391-0293

⑦ 就労継続支援 A 型事業所

統括リーダー 池田史暢

パン工房プクプク 定員 20 名

杉並区南荻窪 4-1-15 春日屋ビル

Tel・Fax：6795-5695

2. 杉並区委託事業

① 杉並区障害者相談支援事業（杉並区委託事業）

センター長 若山大地

杉並区障害者地域相談支援センター高井戸（すまいる高井戸）

杉並区高井戸東 4-10-5 杉並区障害者福祉会館 3F Tel：3331-2510

Fax：3332-1815

② 日帰りショートステイ事業（杉並区委託事業）

施設長代理 加藤大貴

クローバー 定員 8 名（短期入所含め）

杉並区天沼 1-15-18

Tel：3398-2241

Fax：3391-0293

マルコ 定員 4 名

杉並区天沼 1-15-18 メゾン利々101

Tel：3398-2241

Fax：3391-0293

3. 目黒区委託事業

① 目黒本町福祉工房（多機能型事業所・定員 80 名・指定管理）

施設長 池田佳津男

生活介護 30 名、就労継続支援 B 型 40 名、就労継続支援 B 型分室 10 名

目黒区目黒本町 1-14-24 Tel：3713-5798 Fax：3713-5819

（分室）目黒区中央町 2-32-5 Tel・Fax：5724-3896

② さんまるしえ（福祉ショップ・委託事業）

店舗担当 表 尚哉

目黒区目黒本町 1-14-24 Tel：3794-4615 Fax：3794-4617

4. 公益事業

① サポートウイズ事業

管理者 大木裕子

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援（介護保険事業）

杉並区阿佐谷北 2-32-1 Tel：6279-9351 Fax：3337-2770

5. その他の事業

①指定特定相談事業、指定障害児相談支援事業

室長 佐藤陽子

いたる相談室

杉並区阿佐谷北 2-32-1

Tel : 6383-5571 Fax : 3337-0050

②保育・学童保育事業

管理者 大上茂樹

ピヨピヨおうちえん本園

園長 黒川幸恵

杉並区上荻 2-7-9

Tel : 5335-7241 Fax:5335-7241

ピヨピヨおうちえん荻窪駅前

園長 望月和美

杉並区上荻 1-18-3

Tel : 6383-5928 Fax : 6383-5929

③SDG s 推進室

統括リーダー 渡邊菜都

三井不動産リアルティ事務所 杉並区荻窪 4-30-16 Tel : 3392-6231

④法人本部

事業執行担当 水谷弘

杉並区天沼 1-15-18 Tel : 3392-7346 Fax : 3391-8039

(事務所：杉並区上荻 1-20-6 スターフィールド上荻 B1)

■令和6年度 理事会・評議員会 開催状況

開催年月日	議 案
令和6年6月25日 定時評議員会 第1回理事会	第一号議案 令和5年度計算書類・財産目録の承認の件 第二号議案 令和5年度事業報告の承認の件 第三号議案 夏季賞与の承認の件 第四号議案 施設整備等積立資産計上の承認の件
令和6年8月27日 第2回理事会	第一号議案 就業規則・賃金規程の改定について 第二号議案 ピヨピヨおうちえん（本園）の事業変更について
令和6年10月29日 第3回理事会	第一号議案 令和6年度中間決算の件 第二号議案 短期入所クローバー・積立資産取崩の件 第三号議案 評議員会の招集の件
令和6年12月10日 第4回理事会	第一号議案 令和6年度中間決算および中間見通しの承認の件 第二号議案 三井住友銀行からの融資の承認の件 第三号議案 令和6年度冬季賞与の承認の件
令和7年3月6日	第一号議案 ピヨピヨおうちえん・事業変更に伴う役員の誓約

第 5 回理事会	書の提出 第二号議案 評議員会の招集の件
令和 7 年 3 月 25 日 第 2 回評議員会 第 6 回理事会	第一号議案 令和 7 年度事業計画の承認の件 第二号議案 令和 7 年度予算の承認の件 第三号議案 いたる相談室・事業追加および定款変更の承認の件 第四号議案 評議員選任・解任委員会についての定款変更の承認の件

■令和 6 年度 経営会議・マネジャー会議 開催状況

第 01 回経営会議 令和 06 年 04 月 16 日	第 02 回経営会議 05 月 30 日
第 03 回経営会議 06 月 11 日	第 04 回経営会議 06 月 14 日
第 05 回経営会議 08 月 15 日	第 06 回経営会議 11 月 14 日
第 07 回経営会議 11 月 21 日	第 08 回経営会議 令和 7 年 01 月 16 日
第 09 回経営会議 03 月 18 日	

第 01 回マネジャー会議 令和 6 年 04 月 19 日	第 02 回マネジャー会議 05 月 20 日
第 03 回マネジャー会議 06 月 20 日	第 04 回マネジャー会議 07 月 19 日
第 05 回マネジャー会議 08 月 20 日	第 06 回マネジャー会議 09 月 20 日
第 07 回マネジャー会議 10 月 21 日	第 08 回マネジャー会議 11 月 20 日
第 09 回マネジャー会議 12 月 20 日	
第 10 回マネジャー会議 令和 7 年 01 月 20 日	第 11 回マネジャー会議 02 月 20 日
第 12 回マネジャー会議 03 月 19 日	

■令和 6 年度 主要研修内容

●新入職員研修 4 名

4 月 1 日～ 4 月 12 日 (10 日間) 集合研修 (オリンピックセンター)	① 入職式・オリエンテーション ② 福祉職員基礎	① 就業規則、理念と歴史 ② ・仕事への取り組み方 ・利用者に接する ・気持ちを表す表情態度 ・親しみ≠馴れ馴れしさ ・人間関係の基本 ・傾聴の心構え	① 法人本部 井上 MGR ② 法人本部 山本上席研修員
---	-----------------------------	---	---------------------------------------

	③ 新社会人ビジネスマナー基礎研修 ④ 福祉施設見学・懇談 障害者支援の実際 (スマイル高井戸) ⑤ 障害者施設職員としての役割と心がまえ	・気持ちを引き出す質問 ・苦手な利用者の対応 ③・コミュニケーションは挨拶から始まる ・印象を大きく変える話し方 ・ビジネスマナーの基本 ・電話応対の方法 ④・電話相談の見学 ・ピア相談員との懇談 ・障害者支援の基本 ・具体的事例に基づく演習と講義 ⑤・研修に臨む各自の目標 ・障害者福祉と SDG's ・ポジティブ・フィードバック ・自己覚知・自律的能動 ・アサーション ・役割理解 ・ビジョンクエスト ・災害対策(避難と防災) ・危機管理 ・自分軸の構築 ・モチベーション維持 ・アクションプラン	③ 島田教育総合研究所 島田義也講師 ④ すまいる高井戸 春山講師 鈴木講師 ⑤ エスイーアイ 吉田講師
5 月 29 日	新入職員フォローアップ研修① 対面研修(オリンピックセンター)	・職場の振返り ・セルフコンパッション ・チームビルド ・持続的幸福感尺度	エスイーアイ 吉田講師
6 月 19 日	新入職員フォローアップ研修② 対面研修(オリンピックセンター)	・職場における自己現在地 ・災害対策(風水害 24) ・目標達成度	エスイーアイ 吉田講師
7 月 24 日	新入職員フォローアップ研修③	・SDG's と職場環境 ・自分軸の再構築	エスイーアイ 吉田講師

	対面研修(オリンピックセンター)	・未来イメージ・トレーニング	
8月21日	新入職員フォローアップ研修④ 対面研修(オリンピックセンター)	・職場の未来構想 ・掲げているテーマで解決すべき課題を特定 ・問題解決のアイデアを描く	エスイーアイ 吉田講師
9月25日	新入職員フォローアップ研修⑤ 対面研修(オリンピックセンター)	・自己覚知：エニアタイプの振り返り ・目標の再設定 ・目標達成へのワークセッションサークル ・5年後への宣言発表 ・自己と同期同僚の承認プロセス	エスイーアイ 吉田講師

●階層別研修

(1) 常勤職員研修(対象：正職員、準職員、契約職員)

9月21日 10月19日 11月16日 12月14日 1月18日 ※同内容の研修を5回に分けて実施	対面研修(あけぼの作業所)	① 身体介護の基礎(座学と実技) ・知的障害者の高齢化にともなう身体機能の低下に対応する支援 ・毎日の生活に必要な介護技術の基本 ・歩行介助、車いす操作 ・摂食・演技の基礎知識と食事介助 ② 障害者支援における疑問点の解決(根拠のある支援) ・より良い支援を目指して ・実例に基づくディスカッションと質疑応答	身体介護 長尾洋江講師 障害者支援 すまいる高井戸 鈴木講師
--	---------------	--	--

(2) リーダー層研修 (対象: 統括リーダー、グループリーダー)

2月15日	対面研修(オリンピックセンター)	・【演習感染クラスターシミュレーション】 (令和6年度より義務化される感染対策・BCP研修に対応) ※リーダーとしての意識と行動、コミュニケーションの傾向に無期明日 ・多様性の副作用と対策 リーダーとして知っておくべき多様性と凝縮性 ・多様性が生むリーダーシップとフォロワーシップの連携	エスイーアイ 吉田講師 株式会社ロビー ム 石原遼太郎講師
-------	------------------	---	---

●キャリア採用職員研修

6月5日	キャリア採用職員研修 対面研修 (法人本部)	・就業規則、キャリアパス ・目的と目標 ・法人の歴史と理念 ・「自立」「共生」「しなやかな社会」(グループディスカッション)	法人本部 山本上席研修員
7月31日			
8月28日			
9月11日			
11月6日			
1月22日			
2月19日			

●外国籍職員日本語研修

10月23日	外国職員日本語対応研修 対面研修 (法人本部)	・日本の企業における電話対応の基礎 ・事業所別の設定に基づいた電話対応の実習 ・助詞の使い方の基本	法人本部 山本上席研修員
--------	----------------------------	---	-----------------

■令和 7 年 3 月 31 日現在 職員・国家資格保有者

職員	国家資格保有数	資格取得率
218 名	174 資格 (126 名)	79.8% (57.8%)

(内訳)

1. 福祉系国家資格

社会福祉士	40 資格
介護福祉士	83 資格
精神保健福祉士	16 資格
3 資格 計	139 資格
(単独)	82 名
(社会＋介護)	12 名
(社会＋精神)	3 名
(介護＋精神)	0 名
(社会＋介護＋精神)	9 名
資格保有者数 計	106 名

2. その他国家資格

助産師	1 名
保健師	1 名
正看護師	5 名
准看護師	3 名
公認心理師	3 名
理学療法士	1 名
保育士	16 名
管理栄養士	1 名
栄養士	4 名
9 資格 計	35 資格
資格保有者数 計	20 名

	単独	社会＋介護	社会＋精神	介護＋精神	社会＋介護＋精神	資格本数
社会福祉士	16	12	3	0	9	40
介護福祉士	62	12	0	0	9	83
精神保健福祉士	4	0	3	0	9	16

	1 資格	2 資格			3 資格	合計人数
国家資格保有者	82	12	3	0	9	106

